

2021年12月教会便り 美唄～砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

待降節とクリスマス(降誕祭)とは?教会では、クリスマス(降誕祭)の4つ前の日曜日からクリスマスを準備する期間に入ります。カトリック教会では、この期間を「待降節」と呼んでいます。さて待降節は、イエスの降誕を待ち望む季節です。わたしたちの希望、わたしたちの人生における希望の光となって下さるイエス・キリストの誕生を待望する季節です。日々の中に注がれる神様の恵みを確認し、希望に感謝しながら救い主の誕生を喜び祝うクリスマスの準備をして参りましょう。クリスマスはキリストの誕生、すなわち神のひとり子キリストの誕生を思い起こす日として古代から祝われてきました。



イエスがいつ生まれたか、聖書には何も書いてありません。12月25日がイエスの誕生の日とする最古の記録は、4世紀のローマの「殉教者帰天日表」です。しかし昔は、地方によって1月6日に祝っていました。ちなみにロシア正教会は、今でも1月はじめにキリストの降誕を祝います。ではなぜ、ヨーロッパのクリスマスは、12月25日に祝われるようになったのでしょうか?つぎの説が、有力であるといわれています。昔むかしローマ帝国内では、太陽崇拝が広く行われていました。ローマ暦では12月25日が冬至で、この日を太陽誕生の祝日として祝っていたそうです。教会はこの祭日を取り入れ、「正義の太陽」であるキリストの誕生の日として祝うようになったそうです。



救い主となる方が、馬小屋として使われる洞窟で生まれ、飼い葉桶に寝かされるとは、奇妙な話に聞こえるかもしれませんが、しかし、むしろ、イエスキリストの本性的な小さく貧しい者としての姿を示すものだと教会は考えております。イエスは、まったく無力なものとして、わたしたちの隣人でありました。そしてその無力さの先に神の愛を受け入れる器としてのいのちを示してくださいました。クリスマスが近づき待降節に入ると、多くの教会は馬小屋を飾り、誕生の場面を再現します。そしてわたしたちが救いの内にある喜びを思い起こします。

12月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
5	日	待降節第2主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4 平和を願う P18キリストを待ち望む	9:00ミサ 先読:多田 第1:安藤 第2:古野 典礼聖歌:三上夫妻 オルガン:多田	11:00
12	日	待降節第3主日 司祭と召出を求めのために祈る日 P18キリストを待ち望む	9:00ミサ 先読:野呂 第1:間野 第2:室井 典礼聖歌:安藤/古野 オルガン:多田	11:00
19	日	待降節第4主日 病者と洗礼志願者のために祈る日 P18キリストを待ち望む	9:00ミサ 先読:高塚 第1:岡本 第2:千田 典礼聖歌:多田/安藤 オルガン:野呂	11:00
24	金	主の降誕	18:00ミサ 先読:多田 第1:三上朋 第2:本田 典礼聖歌:高塚/野呂 オルガン:多田	
25	土	主の降誕	9:00ミサ	
26	日	聖家族 教会から離れた信者のために祈る日	9:00ミサ 先読:高塚 第1:西川 第2:安藤 典礼聖歌:三上夫妻 オルガン:野呂	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日17:00、土曜日10:00 ○美唄教会:金曜日10:30

今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会		○美唄教会	
3日	フランシスコ・ザベリオ 中西利雄	8日	無原罪のマリア 坂本愛
14日	聖ヨハンナ・フランシスカ 高橋有子シスター	13日	マリア・ルチア 葛西道子、山内亜子
26日	聖ステファノ殉教者 本田日出雄	16日	クリスチアナ 菅野美月

◇砂川教会 お知らせ

- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。
- ・ロザリオ会は冬季(11月～3月は夜間の交通安全を考慮し お休みにします)
- ・5日(日) クリスマスツリー準備
- ・19日(日) 大掃除
- ・クリスマスミサ終了後のクリスマスパーティー開催は コロナ禍で未定。
開催する場合 連絡します。開催の場合パーティプレゼントは1個500円程度のものをご用意下さい。
- ・カトリック新聞(年間9,480円)聖母の騎士(年間2,520円)新規購読及び変更の方は5日までに野呂さんにお申し込み下さい。現在購読されている方で期限までに申し込みのない方はそのまま継続させていただきます。

花当番	
11日(土)	千田
23日(木)	多比良

◇その他 ・5日(日)宣教地召命促進の日(献金) ・24日(金)待降節愛の献金(献金)

😊 笑顔 😊

多田 博樹



今年で還暦、そして会社に勤め36年になります。生産を達成した時の喜び。人を教育して成長し独り立ちした時の喜び。楽になる為の改善をして感謝を頂いたときの喜び。大型投資を成功させた時の喜び。会社では様々な喜びがありました。

一方 苦難も沢山ありました。億単位の赤字を発生させた時。部下がなかなか理解してくれないでベクトルがずれた時。責任の重い立場になった時。本社の社長トップメンバーに発表する時。従業員組合の会長になり会社と交渉をする時。お客様に品質異常を発生させた時。中でも一番つらかったのは部下が怪我をして、夜中に自宅へ送り、部下の奥さんと子供の顔を見た時。まだまだあります。

この長い会社生活で私が意識した事は 大きく 二つ あります。

一つ目は、相手がしてほしい事を すぐにやる です。

上司や部下が今困って、してほしい事。悩んでいる事を察知し、対応してあげる。その為には、いつも広い視野でみんなを見て、変化に気づける気持ちも必要です。いやな相手もいます。しかし、感謝とありがとうと言っていると相手がどんどん変わっていった敵対的なことを言っていた人でさえも、いつのまにか味方になる。

二つ目は、笑顔です。仕事が大変な時、困難に立ち向かったときに 怖い顔をするとなんが嫌な気分になります。かといって愛想笑いでは、直ぐにばれてしまいます。常日頃から、笑顔を心得え 楽しく仕事ができる様にしています。

『投げかけたものが返ってくる。笑顔や明るい言葉を投げかけた人は、笑顔や明るい言葉に囲まれる』『誰もが怒るようなとき、イライラするようなときにニコニコして穏やかでいられるか。それがその人の本当の価値を決める』

…この二つはある著書の言葉で、これを大事にしています。

まだまだ未熟ですが、本にあった『周りを豊かにしてあげようと思う心こそが自分自身を豊かにするのです。人間の生きる目的とは「人に喜ばれる存在」になること』これを実践できるように今月も、そして来年も過ごしていきたいですね。